

## 機能性表示食品制度から 1 年

2015 年 4 月より、機能性表示食品制度が開始しました。この制度開始による可能性は、以前のコラムで紹介しました。表示制度が開始してから約 1 年が経ち、店頭には様々な機能が表示された食品が販売されています。現在、消費者庁に届け出ている主な商品は以下のとおりです<sup>\*1</sup>。飲料やヨーグルト、さらには生鮮食品の届け出も見られます。

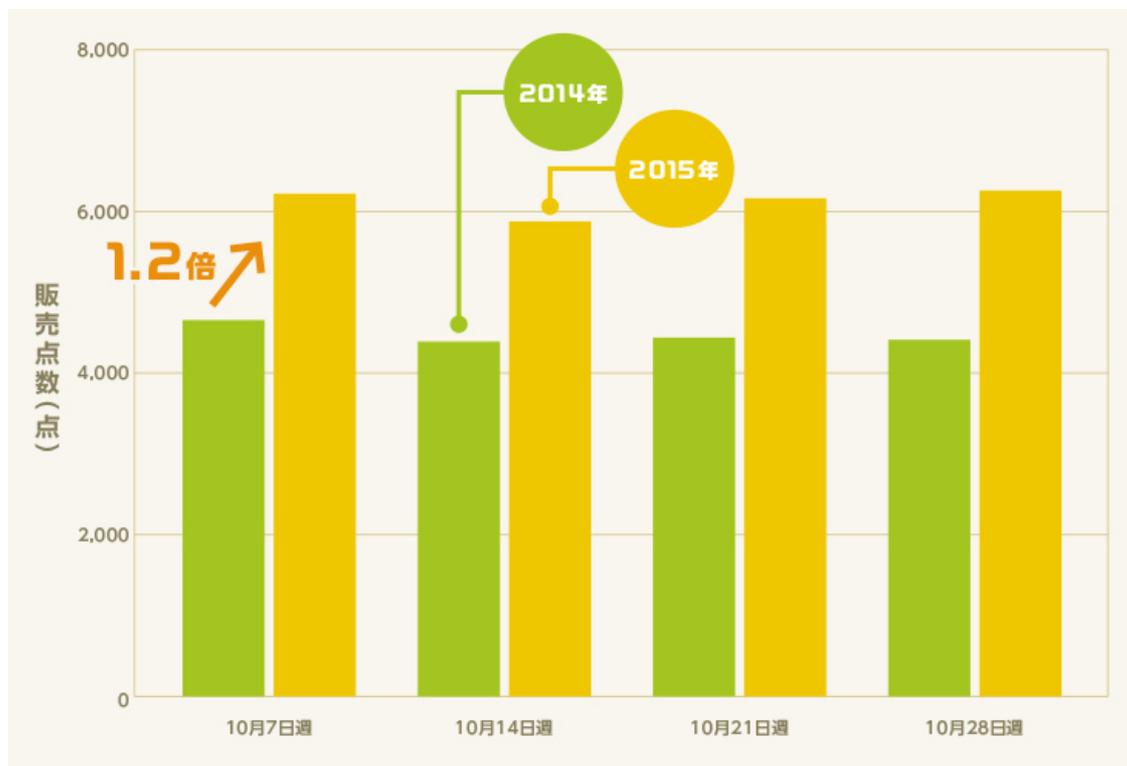
商品名	届出者
べにふうき緑茶ティーバッグ	JAかごしま茶業株式会社
朝食BifiX(ビフィックス)ヨーグルト	江崎グリコ株式会社
カゴメトマトジュース食塩無添加	カゴメ株式会社
ブルーベリー黒酢	株式会社 Mizkan
お〜いお茶 日本の健康 玄米茶	株式会社伊藤園
食事の生茶	キリンビバレッジ株式会社
カカオフラバノールスティック	森永製菓株式会社
ビヒダスのむヨーグルト脂肪ゼロ	森永乳業株式会社
恵 megumi ガセリ菌SP株ヨーグルト 100g	雪印メグミルク株式会社
ビヒダスのむヨーグルト	森永乳業株式会社
大豆イソフラボン子大豆もやし	株式会社サラダコスモ
三ヶ日みかん	三ヶ日町農業協同組合

本コラムでは、生鮮食品で表示をつけた大豆イソフラボン子大豆もやしと、飲料で表示をつけたカゴメトマトジュースを例に、機能性表示が購買に与えた影響を、rsSM データを用いて明らかにします。

## サラダコスモ「大豆イソフラボン子大豆もやし」の例

本商品は、2015年10月7日より機能性表示食品として販売を開始しました。機能性関与成分として「骨を健康に保つ機能」がある「大豆イソフラボン」を含んでいます。

最初に、大豆イソフラボン子大豆もやしの週別販売点数を分析しました。すると、発売を開始した10月7日週には、全週よりも1.2倍売上が増加しました。その後も安定した売上推移となっており、前年と比較しても好調な推移です。10月7日から4週間での購入者は9,942名で、前年同期の6,816名よりも大きく増加しました。機能性表示によって裾野を広げたといえます。



さらに、2014年10月8日から4週間、2015年10月7日から4週間、3回以上購入した人の食用油金額シェアを集計し、2014年との違いを確認しました。すると、2015年に3回以上購入した人は、2014年の購入者に比べて、えごま、アマニ、ココナッツなどを好んで購入する傾向が高いことがわかりました。これより、裾野を広げただけではなく、健康志向のショッパーから購入されたことが伺えます。

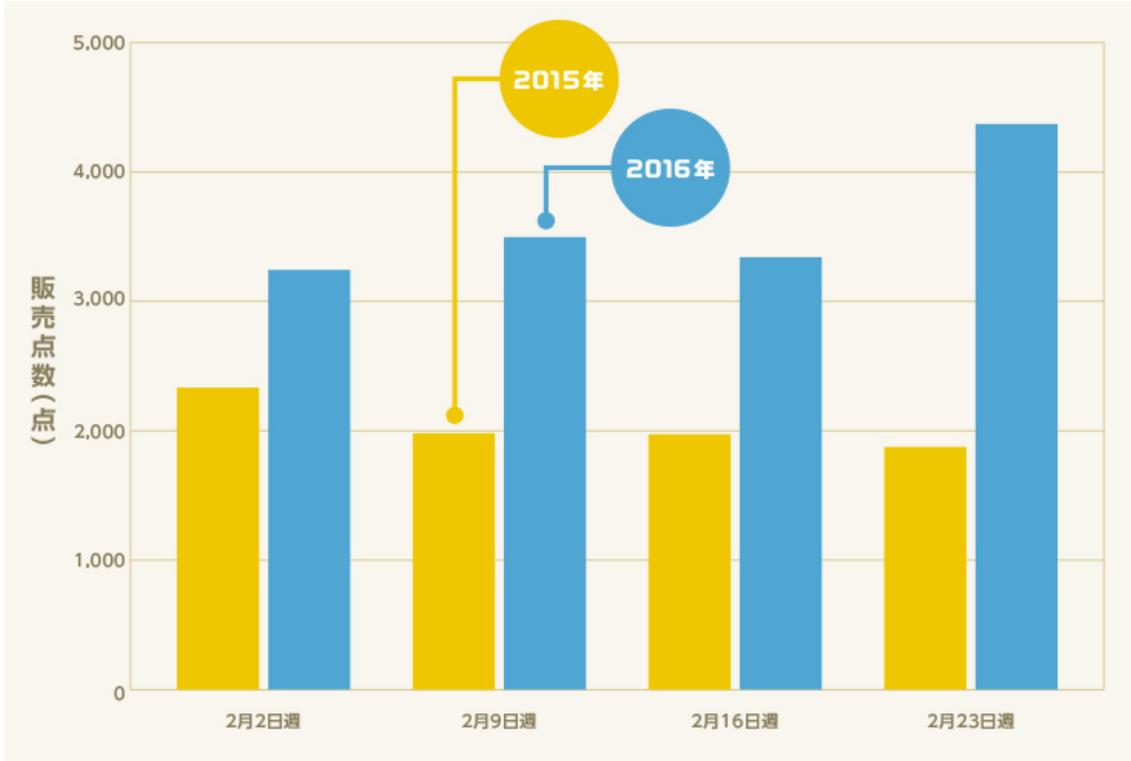
**食用油金額シェア（分析期間：8月～10月）**

	2014年 3回購入者	2015年 3回購入者	差 (ポイント)
	金額シェア	金額シェア	
太田油脂毎日えごま油4g×30	0.0%	2.5%	2.5
日清オイリオアマニ油フレッシュキープボトル145g	0.0%	2.5%	2.5
朝日えごま油瓶170g	1.4%	3.5%	2.1
紅花有機亜麻仁油170G	0.2%	2.2%	2.0
日清オイリオさらっと軽〜いオリーブオイル600g	0.4%	2.1%	1.7
紅花食品有機えごま油瓶170g	0.0%	1.6%	1.6
ポーソーこめ油600g	0.5%	2.1%	1.5
エキストラバージンココナッツオイル瓶130g	0.0%	1.5%	1.5
紅花荳胡麻油180g	0.2%	1.5%	1.3
味の素さらさらキャノーラ油健康プラス910g	0.7%	1.9%	1.2
朝日アマニ油瓶170g	1.0%	2.0%	1.0

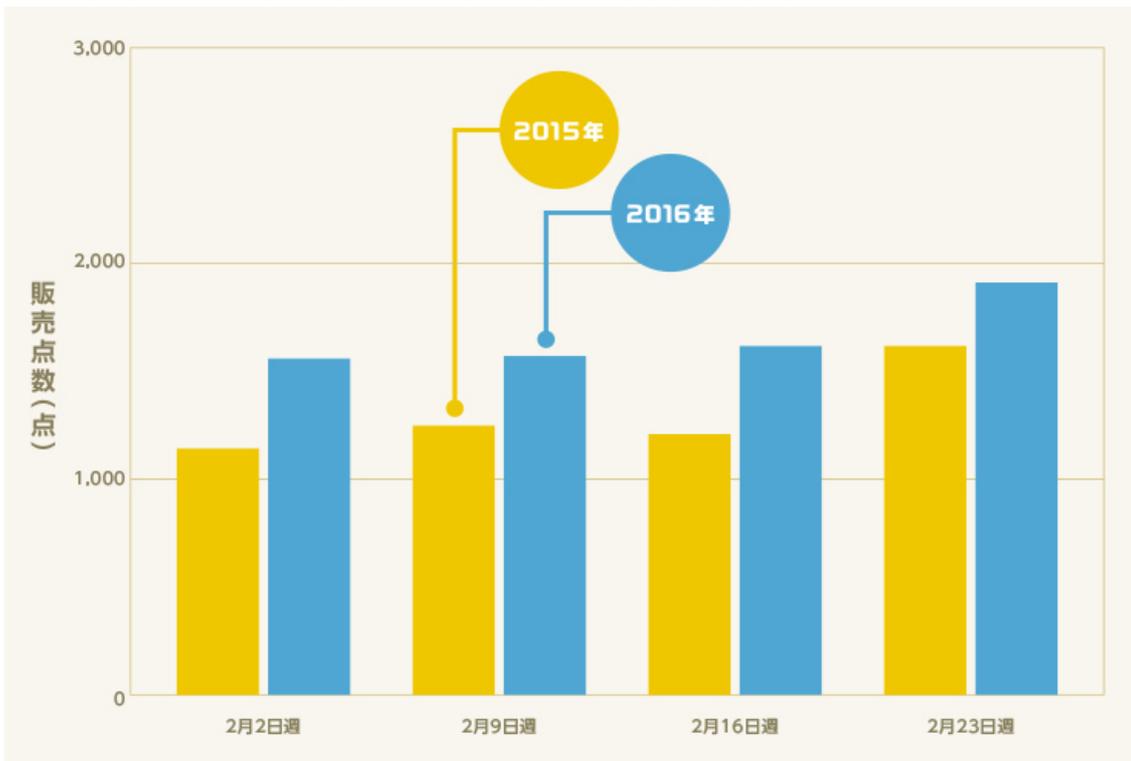
**カゴメ「トマトジュース」の例**

本商品は、2016年2月2日より、「血中コレステロールが気になる方に」と新たに表示して販売を開始しています。出荷実績が前年を大きく上回っていることがニュースリリースにより紹介されました<sup>\*2</sup>。実際、rsSMデータにおいても、食塩無添加 720ml が前年同期の 1.8 倍、スマートペット 720ml が 1.4 倍に販売点数が増加しています。

カゴメトマトジュース食塩無添加720ml トレンド分析

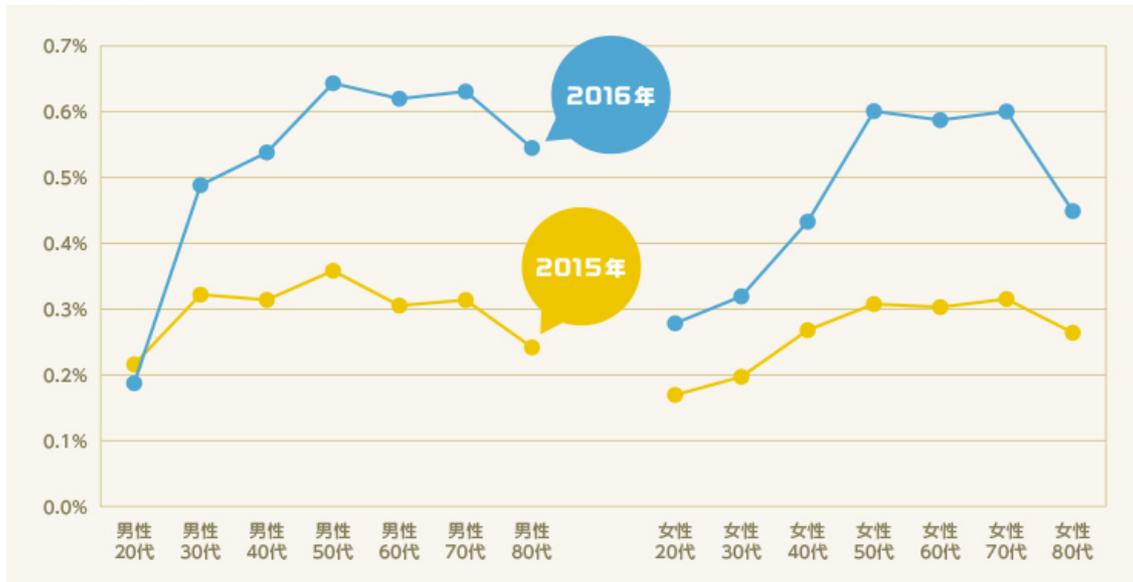


カゴメトマトジューススマートペット720ml トレンド分析



次に性年齢別の購入出現率（期間中来店者のうち、1度でも上記2品を購入した方の割合）を集計し、前年同期と比較しました。すると、どの世代でも割合が高まっていますが、男性、女性ともに50代～70代の増加率が高く、機能性表示により購買が促進されたといえます。

### 購入出現率



両商品ともに、発売直後から好調な推移を示しており、機能性表示による購買促進が見られました。他の商品も同様の傾向が見られたか、今後ご紹介していきます。

※1.消費者庁ホームページより

※2.カゴメ株式会社 2016年2月22日ニュースリリースより